

# 施策評価シート

担当課：子ども家庭課

## 1 総合計画上の位置づけ

施策名	子育て支援
政策名	地域全体で「人」を支える
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体で子育てを支援する仕組みや、多様な保育サービスにより、安心して子育てしています。</li> <li>子育て家庭の心理的・経済的負担が軽減され、子どもが健やかに育っています。</li> </ul>

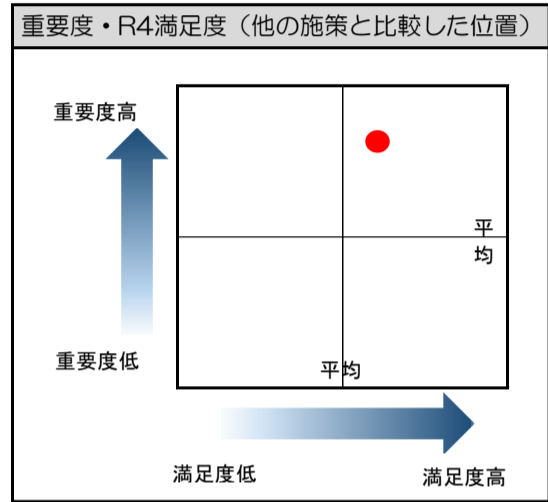
## 2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標	令和9年度目標	
地域子育て支援拠点の個所数	ヶ所	2	6	12	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	2	2	7	8	8

## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和3年度
99.2

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和3年度	 DOWN	令和4年度
93.1		90.8



## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

- 総合計画後期計画では、施策の成果指標「地域子育て支援拠点の個所数」を「子育て親子の交流ができる集いの場の利用者数」に変更しています。
- 地域社会全体で子育てを支援する環境を整備するため、身近な地域における子育て支援の担い手の育成を図るとともに、子育て家庭の地域住民との交流の場を充実します。
- 妊娠期から子育て期にわたる包括的・重層的な支援を実施するため、子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の一体的な相談支援機能の充実を図ります。

## 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：子育て支援拠点事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
15,964				子育てへの不安の解消や子育てをする人同士が交流できる場を、身近な地域で安定的に提供することが必要であり、引き続き現状どおり事業を実施し、子育てを支援します。	

事務事業名②：託児ルーム「あゆっこ」運営事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
9,271				web予約システムの継続的な運用により、サービスの質を向上させながら、事業の効率化を図っていきます。	

事務事業名③ファミリーサポートセンター事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
752				依頼会員のニーズに応じたサービスが提供できるよう、研修会などを定期的で開催して、提供会員の登録者数の増加を目指します。	

事務事業名④：ちびっこ広場運営事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,089				子どもたちが地域における身近な遊び場としてちびっこ広場を安全に利用できるよう、遊具の点検や修繕などに係る経費の補助を継続します。	

事務事業名⑤：私立幼稚園運営事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
11,113				各幼稚園が幼児教育の振興・充実を図ることができるよう、引き続き園具・教具等に係る経費の補助を継続していきます。	

事務事業名⑥：病児・病後児保育事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
10,555				病児・病後児の預かりのサービスを必要とする人に広く利用いただくため、引き続き制度の周知を図ります。また、使いやすい制度にするためにアンケート調査を実施します。	

事務事業名⑦：重層的支援体制整備事業（地域子育て支援拠点）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
8,698				コロナ禍以降、子育てに対する不安の解消等を求めて利用する親子は継続しているため、地域に根付いた子育て支援を引き続き実施する必要があります。	

事務事業名⑧：私立保育所特別保育事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
77,031	障がい児保育事業	↑	↑	一時預かり（一時保育）は、予算増はありませんが、子育て支援の重要事業として位置づけます。障がい児保育は、需要が伸びており、それに対応するため毎年コストが増加しています。子どもの育ちに大きく関わる保育園において、適切な環境で保育が実施され、また質の向上を図っていくことは欠かすことができないため、各事業を継続支援していく必要があります。	○

事務事業名⑨：子どもの居場所・子ども食堂支援事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,086				ひとり親家庭の子どもの生活向上と居場所づくりにつながるように、引き続き学習支援事業の委託及び子ども食堂への補助を続けていきます。	

事務事業名⑩：重度心身障がい児手当等給付事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
5,640				交通遺児や重度心身障がい児の保護者に手当を支給することで、子どもの福祉の向上につながっています。今後も引き続き手当を支給し、子どもが安定した生活を送るための経済的支援を続けます。	

事務事業名⑪：公立保育所特色ある保育事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,715				現在、正規職員保育士の5割は勤続年数4年以下で若い保育士が多いため、スキルアップの機会を創出することは今後も必要です。保育士の実践技術・リスクマネジメント能力の向上に努めるため、本事業を継続して実施する必要があります。	

事務事業名⑫：子ども家庭総合支援拠点

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
23,833	家庭児童相談室事業	↑	↑	R6.4に子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を一体化し、「子ども家庭センター」を設置する予定です。支援を必要とする家庭を取りこぼさないよう、妊娠期から切れ目のない相談支援体制を整備します。	○